

「小中学校の交流を図る中で、地域の様子や子どもたちの様子を知り、連携して、塩山中学校区の子どもたちを育てていこう」

I. 主題設定の理由

「地域で子どもを育てよう」の考えのもとに地域に開かれた学校づくりが進められている現在、小学校・中学校の連携の必要性が高まり、連携が進められてきている。

塩山中学校区ブロック交流研究会の役割は、小学校・中学校の教職員が共通理解を深め、課題意識を持ち、子どもたちの育成にあたることだと考える。そのために、小学校・中学校の交流を進める中で、地域・子どもを知り教育活動を実践していく。

II. 研究の具体的内容

1. 第一回ブロック交流研究会「地区めぐり」

(1) 日時 2011年8月5日(金) 13:30~16:00

(2) 目的 地区内の観光や文化財、産業、及び食育の学習を通して、地域を知り、子どもたちの学習に役立てる。

(3) 内容 4コースに分かれて、地区めぐりを行う。

ア【観光コース】甲州市の観光を知ろう

① 大日影トンネル 遊歩道とトンネルワインカーヴ

② ぶどうの歴史の学習 宮光園の見学 ワイン資料館、土屋龍憲セラーの見学

イ【歴史コース】甲州街道の史跡を巡る

① 飼宿

② 瀬番所

③ 尾の遺跡

④ 沼宿

⑤ 田中銀行 など

ウ【産業コース】甲州ワインのセミナー&ガラス・手作りアクセサリ体験

① 州ワインのセミナー(ぶどうの丘)

② ガラス・手作りアクセサリ体験(葡萄工房ワイングラス館)

エ【食育コース】食教育の実践

① 総合的な学習の時間における食教育の実践例(甲州市民文化会館 調理室)

(4) 反省

- ・宮光園で学んだ農園の歴史やワインづくりの歴史は、児童・生徒が郷土学習をする際に非常に有効な場所であると感じた。
- ・講師の丁寧な説明で、甲州の歴史について学ぶことができ、充実した研修だった。
- ・産業コースでは、ゆとりをもって、体験を通じた研修ができた。
- ・生活リズムと食生活についての講義については、パワーポイントや資料を用意していただき、私たちの生活や生徒や児童にも伝えていけるような身近な内容で、分かりやすかった。

2. 第二回ブロック交流研究会「塩山中学校授業公開」

(1) 日時 2011年11月16日(水)

授業公開 14:00～14:50

部活動の見学 15:00～15:30

交流会 15:40～16:45

(2) 目的 塩山中学校の授業や部活動の様子を参観し、交流会での話し合いを通じて塩山中学区の児童・生徒の課題を共有化し、連携して子どもたちを育てていく。

(3) 内容 ① 中学校の授業の様子を参観する。

② 分科会に分かれて生徒の様子を話し合い、交流する。

③ 各校の校内研究について交流する。

④ 学区の課題等について話し合う。

(4) 反省

・昨年度、塩山中学校から、「あいさつ」「授業規律」といった視点で提案していただいた。今年度も、小中共に、学習規律やあいさつ、返事共に力を入れているキーワードが同じであるという確認ができた。授業見学で学んだことを小学校に生かそうというルートができた。

3. 第三回ブロック交流研究会「塩山南小学校授業公開」

(1) 日時 2012年1月18日(水)

授業公開 14:00～14:45

交流会 15:00～16:00

(2) 目的 塩山南小学校の授業の様子を参観し、交流会での話し合いを通じて塩山中学区の児童・生徒の課題を共有化し、連携して子どもたちを育てていく。

(3) 内容 ① 南小学校の授業の様子を参観する。全クラス公開。

② 分科会に分かれて生徒の様子を話し合い、交流する。

③ 学区の課題等について話し合う。

(4) 反省

・校舎内、教室内の環境整備、学習規律がすばらしく、参考になった。一人一人の児童を大切にしている授業を見ることができた。

Ⅲ. 成課と課題

○中学校1つ小学校1つの授業公開、臨地研修の3つの取り組みだったが、塩山中学区の小中学校の先生方が、このような機会でも交流することができ、連携を深めることができた。小中の公開授業を続けたことも意義がある。

○臨地研修は、交流を深めたり、今後の指導に役立てたりできる内容だった。

○第三回ブロック研は日程が昨年度より遅くなり、取り組みやすかった。

●学校行事にぶつかってしまったところがあり、参加人数が少なかった点を改善したい。

●夏休みの臨地研修は、校区探検や文化財めぐりなど、塩山中学区の中で掘り起こして実施することができないだろうか。4ブロックに分かれての研修場所もだいたい一周したと思うので、子どもたちの学習に役立つような場所を新たに考えていく必要があるのではないか。

(ブロック長 岩森真由美)